

船舶事故等調査報告書

平成26年9月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014函第20号
事故等種類	転覆
発生日時	平成26年5月4日（日、祝日） 13時25分ごろ
発生場所	北海道小樽市小樽港港口付近 小樽港北副防波堤灯台から真方位144° 100m付近 （概位 北緯43° 12.0′ 東経141° 01.6′）
事故等調査の経過	平成26年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーモーターボート ^{えいこう} 栄光丸、5トン未満
船舶番号、船舶所有者等	200-19397北海道、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	船外機に濡損
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者2人を乗せ、小樽市高島岬北西方沖のトド岩の東方で釣りを終え、小樽港へ向けて南進した。</p> <p>船長は、小樽市高島漁港東方沖を南進中、波が船内に打ち込み始めたので、対地速力を約5ノットに減じて海水をくみ出しながら、航行を続けた。</p> <p>船長は、小樽港港口の北副防波堤東端を通過した頃、後方から波高約1mの波が近づいていることに気付いたが、大丈夫と思って航行を続けたところ、平成26年5月4日13時25分ごろ、正船尾から波が船内に打ち込み、船尾が沈んで船尾方へ転覆した。</p> <p>船長及び同乗者2人は、海に投げ出されたが、船底につかまり、船長が携帯電話で海上保安部へ118番通報を行って救助を待ち、13時56分ごろ来援した巡視船に救助された。</p> <p>本船は、巡視船の警備救難艇にえい航されて小樽港へ戻った。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1m、水温 約10℃</p> <p>小樽市には、本事故前日から強風及び波浪注意報が発表されており、本事故発生時は継続中であった。</p>
その他の事項	<p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>船長は、防水仕様の携帯電話を所持していた。</p> <p>本事故発生時には、本船の付近を航行する船舶はおらず、他船の航走波は受けていなかった。</p>

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり あり あり</p> <p>本船は、小樽港港口付近を航行中、後方から波を受けたことから、海水が船内に打ち込み、船尾方に転覆したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、小樽港港口付近を航行中、後方から波を受けたため、海水が船内に打ち込み、船尾方に転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、気象情報を適確に把握し、強風及び波浪注意報が発表されている状況下での出発を見合わせる。